

## 戦略1 ともにつくる協働のまちづくり

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 生活環境部 関係部局 企画政策部、教育部

### めざす姿

- 市民や各種団体など多様な団体が、魅力ある協働のまちづくりに取り組んでいます。
- 大学や大学生と連携した、江別市ならではのまちづくりが進んでいます。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

※（ ）は他戦略との重複分

名称	決算額						予算額			
	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
1 A 多様な主体が協働するまちづくり	5,643	千円	3,751	千円	4,404	千円	4,046	千円		千円
1 B 大学が活躍するまちづくり	2,920	千円	3,581	千円	8,163	千円	8,086	千円		千円
計	8,563	千円	7,332	千円	12,567	千円	12,132	千円		千円

### 戦略プロジェクト1 A 多様な主体が協働するまちづくり

#### 【プロジェクトの目標】

市民、自治会、市民活動団体、企業、大学、行政など多様な主体や高齢者をはじめとする様々な世代が、それぞれの得意分野や豊かな経験・知識等を活かし協働するためのネットワークづくり、組織づくりを促進し、協働によるまちづくり・人づくりに取り組むことで、協働の気運をさらに高め、江別市における協働推進の環境を整備します。

#### ◆成果指標1 A-1 協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
23.1	21.7	24.4	23.6			35.0

#### ◆成果指標1 A-2 協働のまちづくりに参加している（したことがある）市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
38.7	36.8	40.3	38.4			50.0

#### ■成果動向（評価）

個別事業は、ほぼ予定どおりに進捗しているものの、成果指標は1 A-1・1 A-2ともに初期値からほぼ横ばい傾向で推移しています。成果指標を目標に近づけるためには、個別事業において、協働意識の啓発や協働を担う人材育成などの分野における、より効果的な事業展開について検討する必要がありますと考えています。

#### ■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

協働のまちづくりを進めるため、自治基本条例や市民参加条例に基づき、まちづくりにおける市民参加の機会の充実を図るとともに、市政情報についての市民周知を進めていきます。また、協働に関する出前講座を引き続き実施するほか、自治会において、担い手を育成するためのセミナーや女性の活動を支援するための意見交換会を実施するなど、協働を担う人材の発掘・育成につながる事業を重点的に実施します。

◇推進プログラム1A-① 協働によるまちづくり

<課題>

- 市民参加・協働に係る制度の整備
- 協働に関する意識の向上

<取組の概要>

- ・市民参加条例の制定（完了）
- ・小中学生に向けた協働意識の啓発、併せて保護者への波及効果

事務事業	指 標	H27年度	H28年度	H29年度(予算)	備 考
協働を知ってもらおう啓発事業	啓発を受けた小学生	1,960 人	1,000 人	920 人	H28から指標変更
	啓発を受けた中学生	—	1,059 人	1,056 人	
	事業費	449 千円	1,018 千円	714 千円	

◇推進プログラム1A-② 協働を担う人づくり

<課題>

- 高齢者の知恵や経験の世代間継承
- 自治会加入率の向上
- 活動意識の向上
- 自治会役員の担い手となる人材の育成

<取組の概要>

- ・協働を担う人材を育成するためのセミナー等を開催（えべつ地域活動運営セミナー・女性対象セミナー・女性意見交換会の開催）
- ・市民活動団体の担い手を発掘・育成するための市民協働周知啓発セミナーを開催

事務事業	指 標	H27年度	H28年度	H29年度(予算)	備 考
市民協働推進事業	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加者数	812 人	328 人	400 人	H29から指標を一部変更
	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加団体数	72 団体	69 団体	50 団体	
	事業費	3,147 千円	3,244 千円	3,203 千円	
自治会活動等支援事業	セミナー参加者数	23 人	74 人	30 人	
	事業費	155 千円	142 千円	129 千円	

◇推進プログラム1A-③ 協働に取り組むための組織づくり

<課題>

- 市民協働に関する情報発信を強化
- 自治会と市民活動団体との協働事業の伸展
- 自治会と市民活動団体双方の情報共有

<取組の概要>

- ・自治会活動と市民活動団体の協働事業を推進するため、自治会活動及び市民協働に関するホームページを整備
- ・自治会等に対する市民活動団体による出前講座情報を整備

事務事業	指 標	H27年度	H28年度	H29年度(予算)	備 考
市民協働推進事業【重複】1A-②	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加者数	812 人	328 人	400 人	H29から指標を一部変更
	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加団体数	72 団体	69 団体	50 団体	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

戦略プロジェクト1B 大学が活躍するまちづくり

【プロジェクトの目標】

江別市の特性として市内に4つの大学があり、これらの大学及び学生が、それぞれの得意分野を活かして、地域課題の解決やまちの活性化のために、様々な分野で活躍するまちづくりを進めます。

◆成果指標1B-1 大学及び学生等との連携事業数（単位：件）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
28	32	34	34			35

■成果動向（評価）

成果指標1B-1の連携事業数は前年度と同数ですが、平成28年度から新たに実施した学生地域定着自治体連携事業において数多くの幅広い地域活動を実施しております。また、えべつ未来づくり学生コンペティションでの学生による事業提案に企業が関心を示すなど、新たな連携の方向性が見えつつあります。今後も目標の達成に向けて、個別の事業を着実に進めるとともに、大学と市、商工会議所等との包括連携協定に基づき、様々な分野で連携していくことが必要と考えています。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

従前から継続している、大学教員の調査研究や学生の地域活動に関する事業報告会などを通じて、その成果の浸透を図るほか、学生地域定着自治体連携事業を通じて生まれる大学・学生と企業や地域住民とのつながりを支援することで、多様な連携の確立に取り組みます。また、えべつ市民カレッジの受講者拡大に向け、広報等の改善を進めます。

◇推進プログラム1B-① 大学の得意分野を活かした地域の活性化

<課題>

- 大学と地域、企業との連携促進
- 大学連携補助金を利用した研究の有効活用

<取組の概要>

- ・地域と大学との連携を促すため、大学の教員が地域（自治会や企業等）で行う出前講座の実施を支援
- ・研究成果を市政に反映させるため、未来戦略や市政の課題に関する研究に対し助成

事務事業	指標	H27年度	H28年度	H29年度(予算)	備考
大学版出前講座支援事業	出前講座参加者数	461人	248人	100人	
	事業費	0千円	40千円	35千円	
大学連携調査研究助成事業	補助事業本数	5件	5件	5件	
	事業費	2,954千円	2,721千円	3,039千円	

◇推進プログラム1B-② 知的資源である大学が持つ力を活かした教育・人材育成の促進

<課題>

- 地域を創造する人材を育成するための多様な学習機会の提供
- 大学や関係団体との連携による事業内容の充実と周知方法の工夫

<取組の概要>

- ・ふるさと江別塾と大学自主公開講座を「えべつ市民カレッジ」として総合的に情報提供
- ・学びの成果を実感でき、市民の参加意欲の向上が図られるための方策を実施
- ・自治会回覧、広報えべつ折込チラシ等周知方法の拡充

事務事業	指標	H27年度	H28年度	H29年度(予算)	備考
えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業	えべつ市民カレッジ講座数	105講座	120講座	110講座	
	事業費	336千円	1,458千円	1,340千円	

◇推進プログラム1B-③ 学生の力を活かしたまちづくり

<課題>

- 学生の力を活かしたまちづくりの促進
- 地域のイベントへの学生の参加
- 広域的視点による市内大学生の地域定着

<取組の概要>

- ・学生の力をまちづくりに活かすために、地域活動やまちづくりに資する学生の活動に対する支援、補助等
- ・学生のボランティア活動を支援
- ・市内大学と他自治体や関係団体とが連携し、大学生の知的資源の活用に対して地域、企業等での受入れをマッチング

事務事業	指 標	H27年度	H28年度	H29年度(予算)	備 考
大学連携学生地域活動支援事業	補助事業本数	6 件	6 件	6 件	
	事業費	291 千円	327 千円	300 千円	
学生地域定着自治体連携事業	市内の地域活動に参加した延べ学生数	—	482 人	500 人	
	事業費	— 千円	3,617 千円	3,372 千円	